

落ち着いた学習環境づくり

1000人当たりの不登校出現率(人)

H26:13.3 → H27:13.8 ▶▶ H32:9.6 以下
(現況) (目標)

1000人当たりの暴力行為件数(件)

H26:5.2 → H27:5.1 ▶▶ H32:3.2 以下
(現況) (目標)

不登校・長期欠席対策

暴力行為等への対策

対象

拡充

◎スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業

- 複雑な家庭環境や本人の特性等への対応支援の充実
- ・正規SSWの人数 19/25人 ▶ 20/25人
- ・スーパーバイザーの人数 1名 ▶ 2名

年間の欠席日数が30日以上の不登校・長期欠席児童生徒

不登校・長欠児童生徒への直接的な支援

拡充

◎スクールカウンセラー配置事業

- スーパーバイズによる支援力向上
- ・バイザー人数 5名 ▶ 6名
- 課題の多い小学校への配置拡充
- ・配置校数 68校 ▶ 78校
- OSCに準ずる者のスキルアップ
- 研修会参加への補助

◎社会的自立サポート事業

- ・委託市町村数 1市 ▶ 2市町村
- (国庫を活用)

◎思春期サポート事業

- 高等学校の教育相談力向上

拡充

◎小学校における不登校・長期欠席対策事業

- 小学校
- ・登校支援員の配置拡充
- 100校100人 ▶ 100校120人 (複数配置も含む)
- ・勤務時間の延長 +2hは担任との引継ぎ等に活用
- 3h/日(週5日) ▶ 3h/日(週4日) + 5h/日(週1日)
- ・担当者研修
- ・中1ギャップの解消も含めた効果的な支援の調査研究

専門指導員(校長OB)の巡回

連動

◎中学校における不登校対策のための教員派遣事業

- 中学校における不登校対策

年間の欠席日数が10529日の児童生徒

欠席が目立ち始めた児童生徒への早期の支援

早期対応「チーム対応」の徹底
課題に応じた支援の選択・実行

学校の組織的対応力の向上

対象

規範意識向上モデル校
モデル校に準ずる学校

課題の大きい学校への重点的な支援

県警察 学校警察連絡室

- 問題行動を起こす生徒への対応
- 学校への助言・支援



非行防止教室の実施

教育委員会 県教委・市教委指導主事等 校長OB等

- 学校の指導体制の強化
- モデル校等の訪問指導

連携

必要に応じて小学校 高等学校にも巡回

◎学級崩壊等早期対応事業

- 集中指導員の派遣
- 教員OBと警察OBをペアで 直接指導や校内体制へ助言
- 別室指導支援員等の配置

校長OBによるコーディネート

状況に応じた最適な支援の実施

◎学級サポートチーム派遣事業

- 学級サポートリーダー(専門指導員)の派遣
- 児相福祉・保健・特別支援教育の専門家による校内指導体制等への助言
- 教育支援員等の配置

授業エスケープ等、荒れの兆候が見られる学校

問題行動が発生し始めた学校への早期の支援

◎落ち着いた学習環境づくり支援事業

- ・hyper-QU等の心理検査の実施による、学級状況の把握
- ・課題対応事例集の作成

◎いじめや不登校を生まない「積極的生徒指導」の推進

- ・特別活動の充実

岡山県教育委員会

重点的支援

早期対応

未然防止